

〈作品 010〉

「安治川いいであいプロジェクト」  
提案書

チーム名：安治川げんきプロジェクトチーム

木村昌弘（大阪大学 工学部 非常勤講師）

岡崎 善久（岡崎善久建築設計事務所 所長）

加藤 創一（近畿大学 総合社会学部 総合社会学科 環境・まちづくり系）

河西 茂行（地球デザイン研究所 所長）

審査員特別賞

# 「安治川いいであいプロジェクト」提案書

気候変動等による水災害の深刻化に対処するため、流域全体であらゆる場所や手法で、すべての関係者が一体となって取り組む流域治水対策が必要とされている。今回の府の取り組みは、治水施設とまちづくりを一体的に進める流域治水の先進的事例であることから、以下のキャッチフレーズを基に「安治川いいであいプロジェクト」とした。

## 大阪府「流域治水」のキャッチフレーズ(案)

い	つも	WHEN	日頃から(フェーズフリー)・グリーンインフラ・Eco-DRR
い	っしょに	WHO	住民・NPO・市町村・都道府県・国・企業等
で	きることから	WHAT	タイムライン・ハザードマップ・防災計画・訓練・土地利用
あ	らゆるところで	WHERE	河川(河道・ダム・遊水池・防潮水門等)・各戸・各施設・宅地・農地・山林等
い	つまでも安心安全	WHY	気候変動に伴う豪雨災害の増加・人口の高齢化

# プロジェクトの基本理念と対応方針

## 基本理念

ひと・まち・みず・そらとのいい出会いで  
安らかに治まる川と  
魅力ある安全安心  
なまちづくり

## 対応方針

### 1. 河川と海とのいい出会い

- ①高潮・津波対策と洪水対策の両立
- ②弁天ふ頭の再興・舟運の活用

### 2. 人と水とのいい出会い

- ①親水空間の創造
- ②高床・ピロティ式住宅等への転換

### 3. 人とまちとのいい出会い

- ①天空回廊の整備

### 4. まちとまちとのいい出会い

- ①安治川左右岸地域の交流
- ②舟運の復活

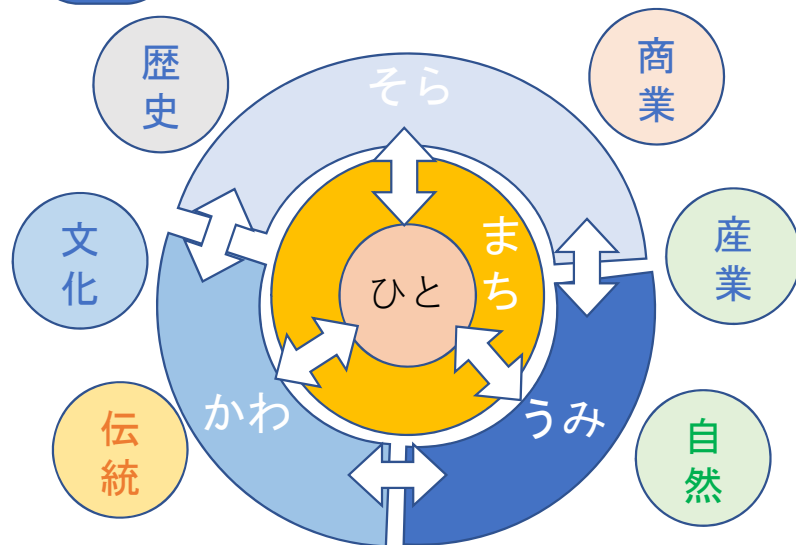
### 5. 歴史やそらとのいい出会い

- ①現安治川水門等の保存
- ②川・海・空の眺望確保

安治川  
水門

弁天町  
周辺

安治川  
水域



「安けく治むる」：安治川の語源

# 1. 新安治川水門および管理所敷地のデザイン

## (1) 新安治川水門形式はマイターゲート(河川と海とのいい出会い)

治水機能、維持管理、景観・利用、気候変動対応の4面から評価を行い、マイターゲートが最適として、この形式で水門をデザインすることとした。

- ①治水機能：海側からの高潮・津波だけでなく河川側からの洪水への対応性で評価  
(無動力で開閉の容易性：台風時の高潮と豪雨及び排水ポンプ故障対応)
- ②維持管理：水中作業の有無で評価
- ③景観・利用：景観面と上部利用の可能性で評価  
(水面上での威圧感、水上イベントステージ等の上部利用)
- ④気候変動対応：建設後にゲートの嵩上の可能性で評価



水門形式	マイターゲート	起伏式ゲート	横転式ローラゲート	引きげ式ローラゲート
①治水機能	◎水圧で開閉可能	◎同左	◎同左	○開時に動力必要
②維持管理	○リフトアップ可能	△水中作業	◎常時は陸上	◎同左
③景観・利用	◎景観・上部利用	◎	○	△景観・上部利用
④気候変動対応	○嵩上可能	○嵩上可能	△嵩上困難	○嵩上可能
総合評価	◎	○	○	○

## (2) 安治川アーチ水門は産業遺産として保存

### ・安治川水門の歴史的価値の認識評価(歴史とのいい出会い)

#### ① 高潮対策に果たした大きな効果

⇒ 先人の治水努力の伝承

#### ② 地域のランドマーク的役割大

⇒ 歴史的シンボル景観の継承



現安治川水門を貴重な土木遺産として保存し後世へ継承



## (3) 現水門管理棟は保存活用

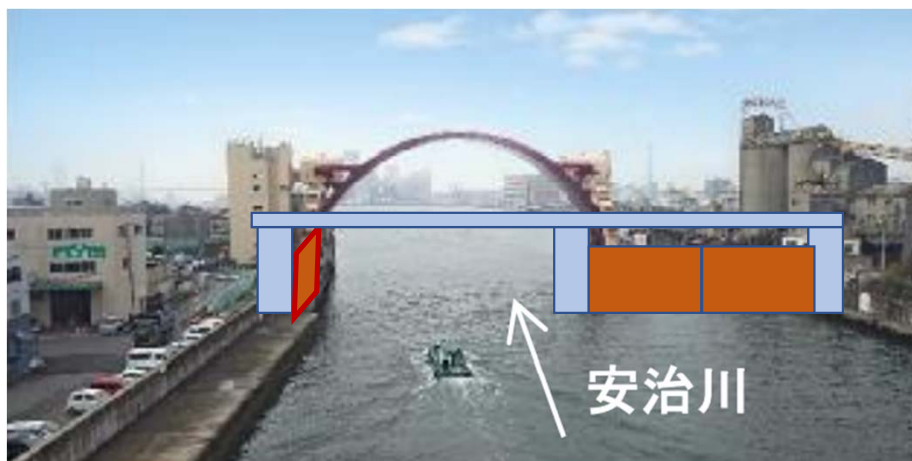
#### ① 現水門と一体的にリニューアル保存

#### ② 高潮津波ステーションと一体的運用

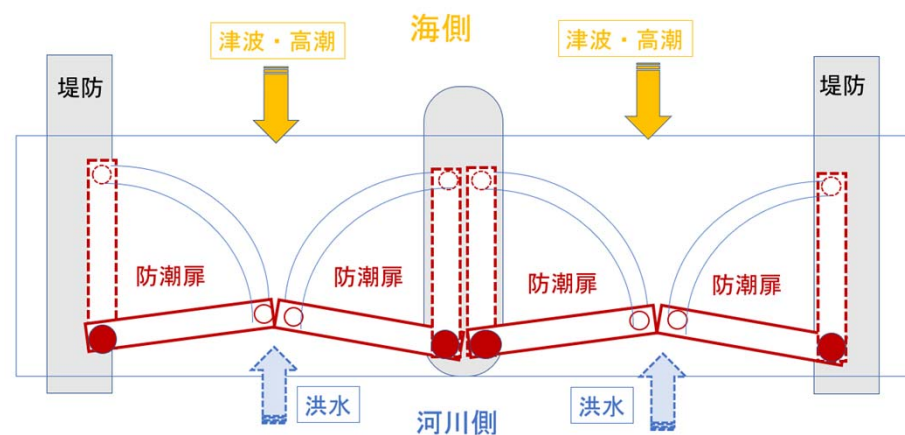
#### ③ 管理施設・子ども教育・PR等に活用



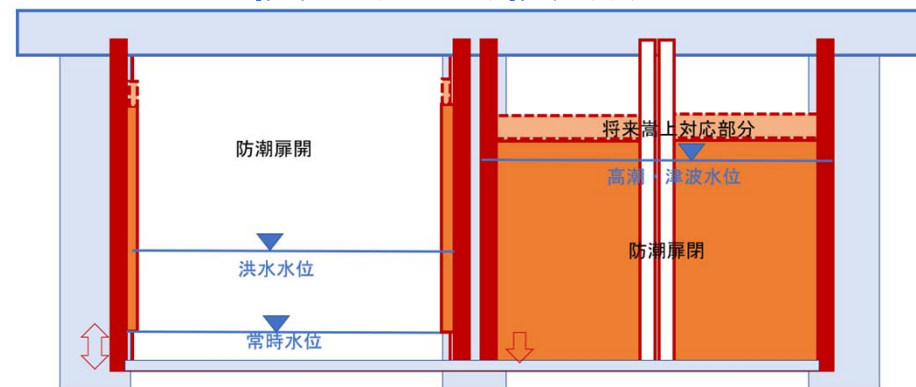
# 新安治川水門イメージ図



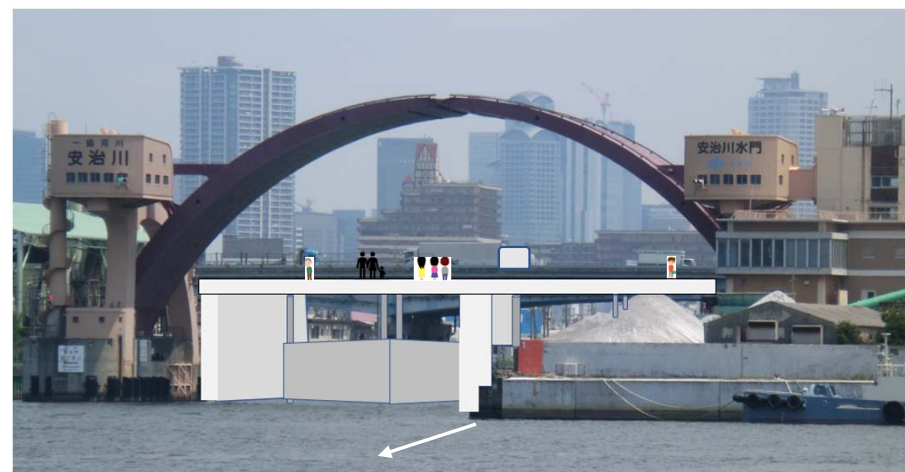
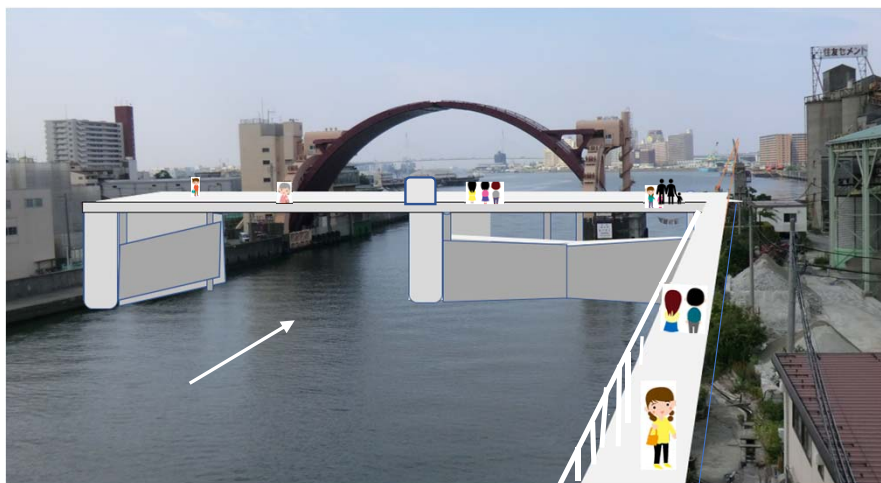
## 模式図（平面）



## 模式図（横断）



# 新水門・管理棟デザインイメージ



水門上部広場の活用例



災害・水位情報の常時点灯表示



## 2. 弁天町周辺エリアのデザイン

### まちづくりコンセプト：

水都の守護（水防災情報発信都市）モデルタウン弁天  
瀬戸内航路の玄関口⇒水防災の玄関口

**べんりさとさいがい対策が  
てんこ盛りのまち**

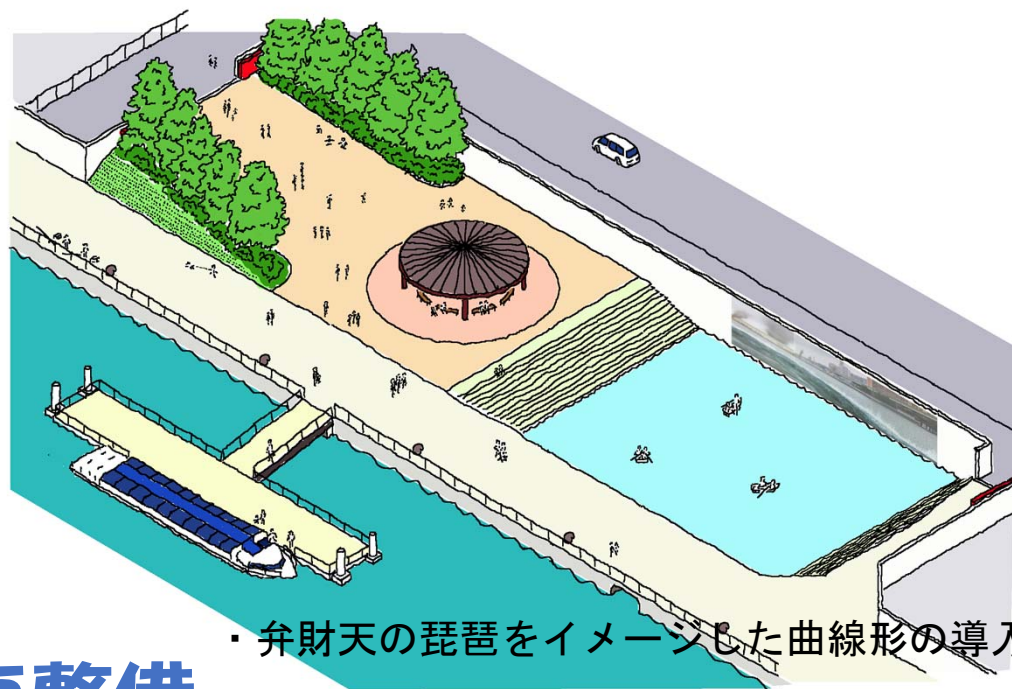
- (1) 弁天ふ頭の復興活用
- (2) 災害情報発信の拠点整備
- (3) 天空回廊の整備





## (1) 弁天ふ頭復興活用

- ① 弁天埠頭公園の拠点化
  - ・ 防潮堤の位置を変え水辺と一体化
  - ・ 感潮型の池を設け親水空間化
  - ・ 定期的な朝市を開催
  - ・ 屋台・キッチンによる賑わい創出
- ② 新航路の拠点整備
  - ・ 浮棧橋設置等による水運復活。
  - ・ ホンデマント 小型舟運ネットの導入
- ③ 防災機能との連携（海上輸送拠点等）



・ 弁財天の琵琶をイメージした曲線形の導入

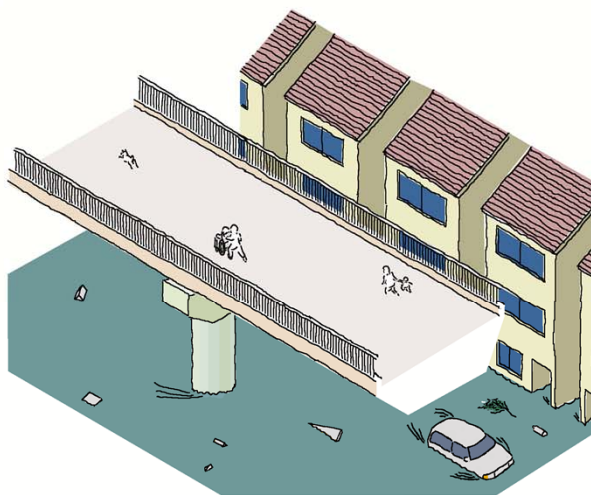
## (2) 災害情報発信の拠点整備

- ① 現水門管理棟の活用
  - ・ 津波高潮ステーションとの連携（研修・PR）
- ② 各拠点毎に系統的案内表示板設置
  - ・ 防潮堤（スクリーン化）・水門上部広場・天空回廊



## (3) 天空回廊の整備(人と水とまちのいい出会い)

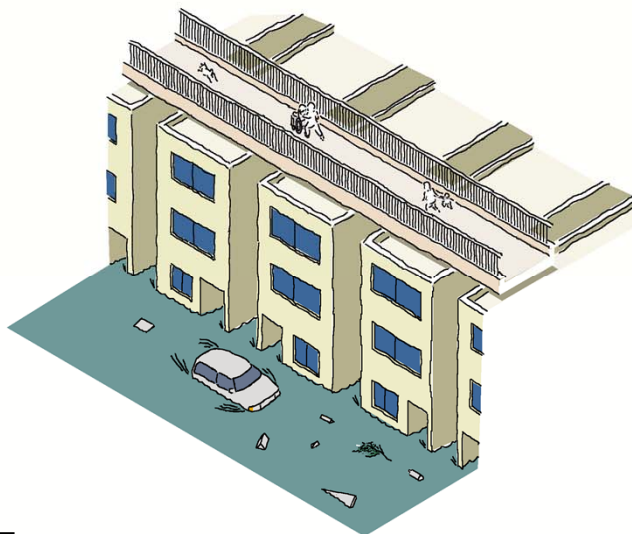
### ① 避難用天空回廊の整備



浸水発生時に避難用通路として利用  
平時は、にぎわいの場を創出

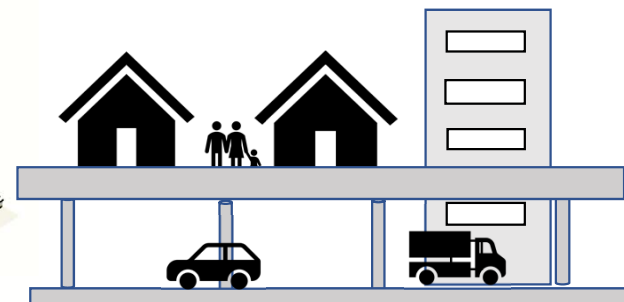
- ・ イベント利用可能な幅員を確保
- ・ オーク商店街のアーケード的活用

### ② 耐浸水性建物への建替に合わせ、民地内通路を整備



天空回廊と接続し、バリアフリーの移動を可能とする

### ③ 将来的には、上層をアメニティ生活空間とする2層の都市への移行



人工地盤都市（坂出市の事例）



### 3. 安治川水域エリアのデザイン

デザインコンセプト: あじ(あ字)サイト(彩人)水回廊

- 目的: あんぜん(安全)・あんしん(安心)、アメニティの創出
- エリア設定: あそぶ、あきなう、あじわう、あつまる、あるくエリア
- 河川および周辺建築物の色彩・照明:  
あお(あい)色、あか色を基調とした色彩で統一、あかいの演出
- 自然環境の保全と活用:  
あじさい、アマモで満る水辺と海域

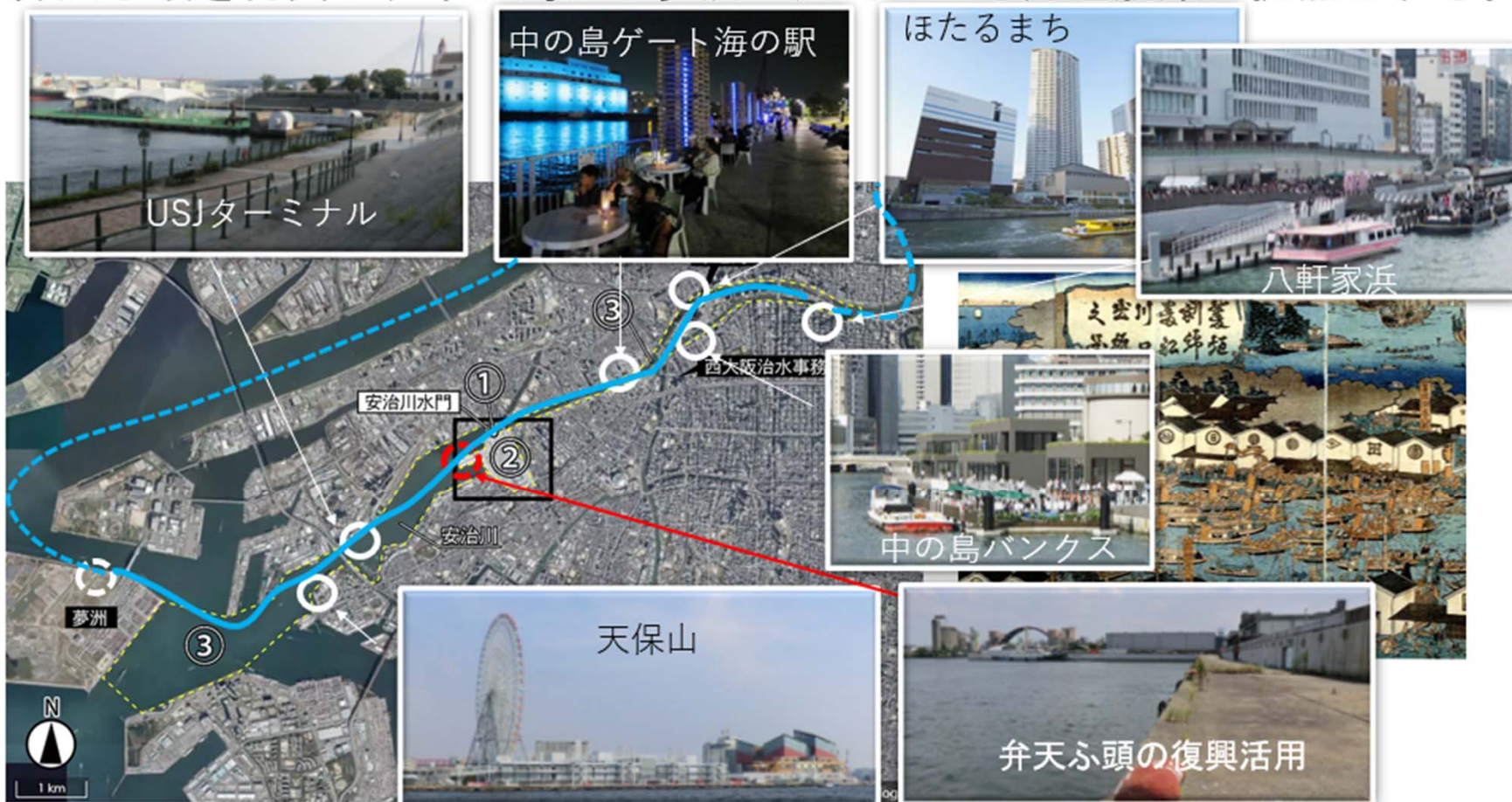


# エリア別の整備イメージ（人と水とのいい出会い）



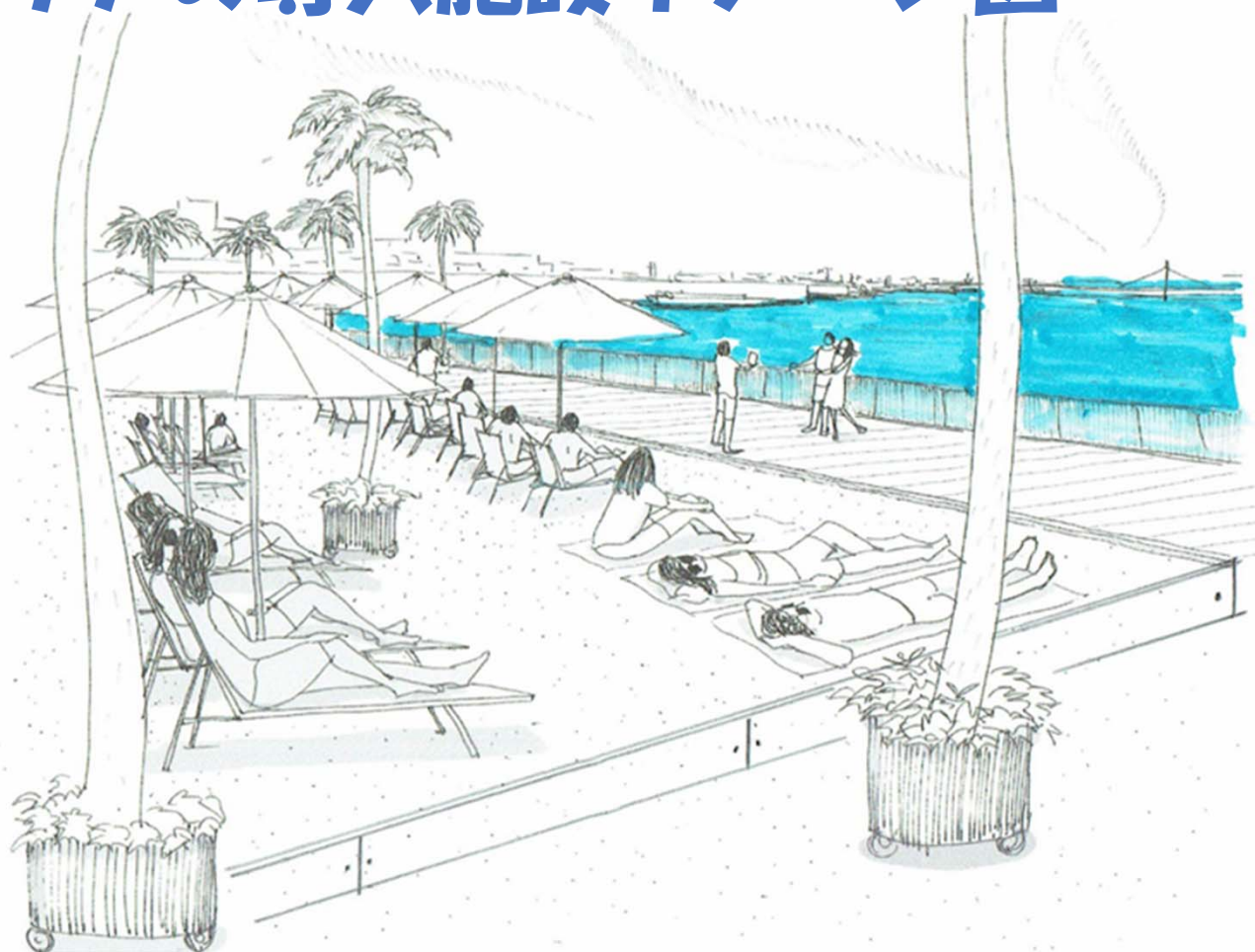
# 舟運の復活・活用（海と川とのいい出会い）

弁天ふ頭を再興し、中の島から夢洲・淀川に至る舟運航路の拠点とする。

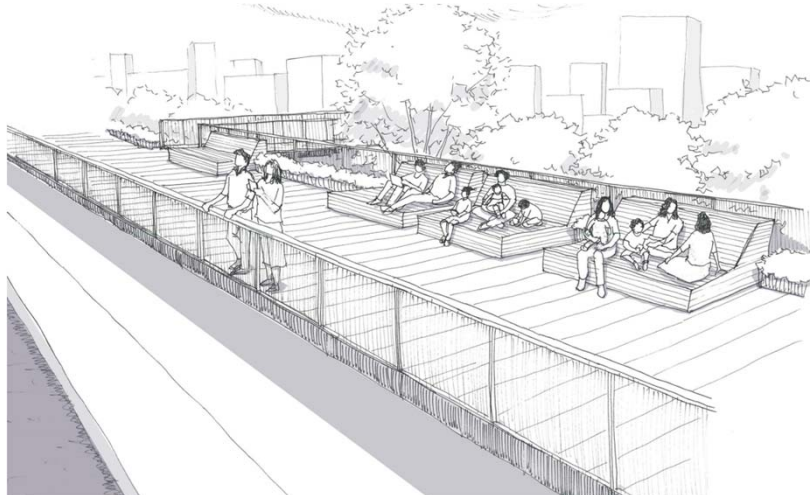


## 遊ぶ・歩くエリアの導入施設イメージ図

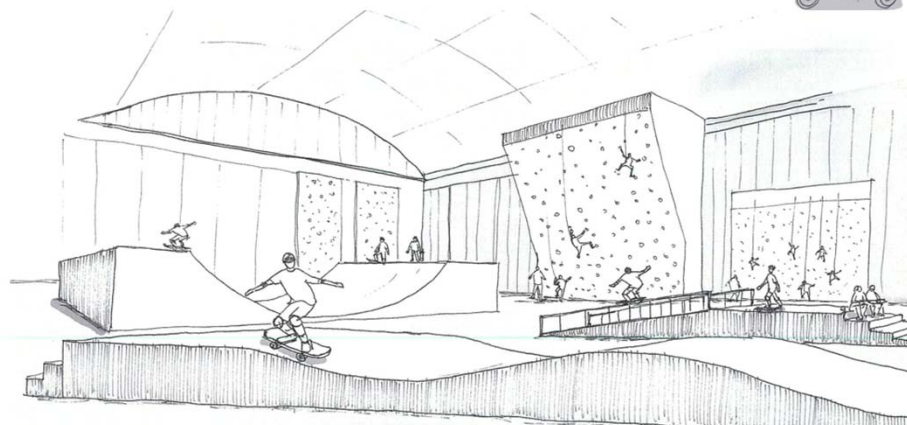
- 砂を入れ、囲いで仕切られた移設可能な砂浜ビーチを再現
- 地域の人たちと、四季折々の花を植えて楽しむプランターを設置



- 組み立てや解体が簡単な可搬式の現代版リヤカー等による、動く施設や店舗を設置



- 弁天ふ頭からの眺望を楽しむ、ベンチ等を設置



- ふ頭倉庫にスケートボード場等を整備

# 安治川水門周辺の整備イメージ図

